

王子ホールディングス株式会社 (東京都 中央区)

農業参入事例

企業概要

王子薬用植物研究所株式会社【農地所有適格法人】(名寄市)

- 事業内容：カンゾウの栽培、加工、販売(食品、化粧品、生薬向け)
- 資本金：1,000万円
- 従業員数：10名(2024年1月末現在)
- 営農開始：2021年5月～

王子ホールディングス株式会社【親会社】

- 事業内容：紙パルプ・エネルギー事業等
- 創業：明治6年2月12日
- 資本金：103,880百万円(2023年3月末現在)
- 連結従業員：37,845名(2023年3月末現在)

栽培概要

作物等	規模等
カンゾウ	数ha規模(北海道)にて展開中

北海道への参入経過

- 2013年9月 王子HDの研究部門として前身となる「医療植物研究室」設置
- 2017年 大規模栽培の検証開始
- 2021年5月 王子薬用植物研究所(株)を設立

北海道で農業を行うメリット

- 広大な農地があり大規模栽培に適しており、効率的かつ持続的な農業が可能なこと。
- 「北海道産」は国内・海外で強いブランド力があること。
- 王子グループの社有林の7割(13万ha)が北海道にあり、そこに自生する薬用植物の活用に期待できること。

今後の展開やビジョン

- 基礎研究から製品化まで一貫通の体制をとることで、生産性の向上と信頼性の確保を実現し、安心安全、高いトレーサビリティなど市場ニーズに対してきめ細やかな対応を展開していきます。



カンゾウ地下部(利用部位)